



弥生っ子

学校だより 第1号

平成31年4月5日

千葉市立弥生小学校

一人一人がそれぞれの花を咲かせる 教育をめざして

校長 升川 光博

春の日差しを受け、弥生の森の木々の緑、花壇の花々に囲まれ、創立67年目にあたる平成31年度がスタートしました。子どもたちは進級した誇りを胸に、新しい先生、新しい教室、新しい教科書のもとで勉強に励むこととなります。また、9日の入学式には、22名の1年生を迎え、全校児童数150名になる予定です。

★「令和」時代に生きる 子ども像 ～ねばりっ子～

今年は、めざす子ども像を「夢を抱く弥生っ子、最後まであきらめない、ねばりっ子」としました。困難なことがあっても、心折れずに、しなやかに最後までやり通す姿を「ねばりっ子」と表現しています。個性を尊重し、150人の子ども一人一人に寄り添い、3つの合言葉「や」「よ」「い」を中心に教育活動を推進していきたいと考えています。

- ◎「や」→やさしく、思いやりのある子 <なかよく>
- ◎「よ」→よさを生かし、自ら学ぶ子 <豊かな学び>
- ◎「い」→いつも元気で、ねばり強い子 <すこやかに>



★友を愛する心を育てたい

校長として、子どもたちに願うことは、ワクワクした気持ちで登校し、力いっぱい体を動かし、楽しく学んでほしいということです。そのためには友達を愛する気持ちで、みんなと「なかよく」することが大切です。仲間はずれ、意地悪をせず、お互いを認め合う子になってほしいと思います。また、いつも元気で遊んだり、勉強したりするには「早寝・早起き・朝ご飯」が必要です。

子どもたちの豊かな学校生活のために、教職員一丸となって全力投球で取り組みますので、本年度も保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。